

新たな劇場整備の検討状況について

本格的な舞台芸術を上演できる劇場整備の検討を進めています。
新たな劇場は、観光、賑わいなど経済活力、さらに、次代を担う子どもたちの育成や地域の活性化などへの貢献を目指しています。
今後も、検討状況などをご報告いたします。

1 検討の経過

(1) 横浜市中期4か年計画（2018-2021）

文化芸術の風土醸成や子どもたちの育成を図るとともに、さらなる魅力・賑わいを創出し、都市の活性化につなげるため、新たな文化芸術の魅力を発信する劇場の整備について検討を行うことが位置付けられました。

(2) 横浜市新たな劇場整備検討委員会の設置

令和元年12月には、「整備を推進すべき」である一方で、「事業化の判断材料の調査検討が必要」などと示された提言(第一次)を取りまとめていただきました。

(3) 現在の検討状況

令和2年度は、検討委員会のもと、施設の計画概要や管理運営の内容など、事業化の判断に向けた検討を行っています。

2 検討している計画概要

・整備検討の候補地

みなとみらい21地区内60/61街区(観光・エンターテインメントゾーン内)

・観客席数

2,500席

・舞台仕様

国内外の優れたバレエ・オペラの上演が可能となるような舞台機構の導入

・新たな技術開発の導入

映像配信技術などを活用し、スマート劇場としての実証実験の場

3 今後の進め方について

- ・新たな劇場の重要な役割である、次世代育成や地域の文化活動の活性化などについて、地域の皆様の声を聴きながら検討します。
- ・今後の検討状況について、逐次、お伝えします。